

映画を通して、こころの健康について一緒に考えてみませんか。

映画には、言葉だけでは届きにくいこころの痛みや回復の物語を伝える力があります。4作品と専門家によるトークを通して、震災や戦争、家族、こころの病など、さまざまな背景を描いた作品から、心の傷とその先にある回復や希望を見つめます。

上映スケジュール

10月12日(月)	10月13日(火)	10月14日(水)	10月15日(木)	10月16日(金)	10月17日(土)	10月18日(日)
10:30 父と家族と わたしのこと 上映後トーク 高木さん・黒井さん	10:30 心の傷を 癒すということ	11:00 心の傷を 癒すということ	10:30 父と家族と わたしのこと	11:00 生きて、生きて、 生きろ。	11:00 生きて、生きて、 生きろ。 上映後トーク 島田さん	10:30 父と家族と わたしのこと 上映後トーク 藤岡さん
13:00 父と家族と わたしのこと 上映後トーク 高木さん・黒井さん	13:30 港に灯がともる 上映後トーク 安達さん	14:30 父と家族と わたしのこと 上映後トーク 藤岡さん	13:30 港に灯がともる 上映後トーク 知名さん・安さん	14:30 父と家族と わたしのこと	14:30 心の傷を 癒すということ 上映後トーク 高さん	15:00 港に灯がともる 上映後トーク 大橋さん
16:30 生きて、生きて、 生きろ。		18:30 生きて、生きて、 生きろ。		18:30 心の傷を 癒すということ 上映後トーク 安さん	18:30 港に灯がともる	

登壇者プロフィール

映画・医療・心理など、各分野の専門家が登壇します。 ※登壇日は上記スケジュールをご覧ください

高木俊介

精神科医。たかぎクリニック院長。
重度精神障害者の地域生活を支える
ACT（包括型地域生活支援）に取り
組む。著書に『ACT-Kの挑戦』等。

黒井秋夫

「PTSDの日本兵家族会・寄り添う
市民の会」代表。
「父と家族とわたしのこと」出演者

安達もじり

映画監督
「港に灯がともる」監督
「心の傷を癒すということ 劇場版」
総合監修。

藤岡美千代

「PTSDの日本兵家族会・寄り添う
市民の会」関西代表
「父と家族とわたしのこと」出演者

知名純子

精神保健福祉士
京都精神保健福祉士協会会長
医療法人博友会 医務部長
NPO法人ハートブライト理事

島田陽磨

映画監督
「生きて、生きて、生きろ」
「父と家族とわたしのこと」監督

高宜良

精神科医。神戸大学大学院修了。
兵庫県精神保健福祉センター医療参
事等を経て、2022年よりこころ療ク
リニック開院。

大橋良枝

京都文教大学臨床心理学部教授。
公認心理師・臨床心理士。
学校臨床や愛着障害児支援を専門と
する。

安成洋

一般社団法人 神戸シネマ・ケア・ダイアログ代表理事・プロデュー
サー。特定行政書士・社会保険労務士。精神科医の実兄・故安克昌氏
のNHKドラマ化を契機に、映画『心の傷を癒すということ 劇場版』
『港に灯がともる』の製作と上映活動に取り組む。本企画の発起人。

会場

河ニホール

〒604-0931 京都府京都市中京区二条通河原町西入榎木町8 7
河ニガレージビル8F



会場へのアクセス

(Googleマップ)



こちらからご覧いただけます

料金

前売 1,200円
当日シニア 1,400円
当日(一般) 1,500円

